

## 「生徒指導の実践上の視点」を踏まえた学級づくりのためのチェックリスト を効果的に活用するために

秋田県教育庁南教育事務所

小学校（中学校）学習指導要領解説総則編の「学級経営、児童（生徒）の発達の支援」には、「学習や生活の基盤として、教師と児童（生徒）との信頼関係及び児童（生徒）相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること」と示されています。

また、生徒指導提要〔令和4年12月〕の「学級経営と生徒指導」に、「学級経営で行う生徒指導は、発達支持的生徒指導と課題未然防止教育を実践すること」と示されています。この発達支持的生徒指導では、日々の教職員の児童生徒への挨拶や声掛け、励まし、及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛け等が大切であるため、生徒指導の実践上の視点に留意して教育活動を行うことが求められます。

そこで、児童生徒にとって学習や学校生活の基盤である学級づくりの手立てを、生徒指導の実践上の視点で捉え直し、日々の教育活動で実践することが大切です。

それぞれの実践上の視点と学級づくりを関連させる際の留意点は次のとおりです。

### ○ 自己存在感の感受を促進する学級づくり

児童生徒が、「自分も一人の人間として大切にされている」と実感できるように、自己肯定感や自己有用感を育む工夫を行うことが大切です。

### ○ 共感的な人間関係を育成する学級づくり

自他の個性を尊重し、相手の立場になって考え、行動することができる相互扶助的で共感的な人間関係をつくり上げることが大切です。

### ○ 自己決定の場を提供する学級づくり

児童生徒が自己指導能力を獲得するため、児童生徒が主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定することや目標の達成のために自らの行動を決断し、実行する場や機会を設定することが大切です。

### ○ 安全・安心な風土を醸成する学級づくり

教職員の支援の下で、児童生徒が互いの個性や多様性を認め合い、安心して学校生活を送れるような風土を児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切です。

南教育事務所では、「学級づくりの充実」に向けて、生徒指導の実践上の視点ごとのチェックリストを別紙のとおり作成いたしました。本チェックリストは、先生方による次のような活用を想定しております。

### 1 学級担任等が年度初めの学級づくりの際に参考にしたり、学期末の振り返りの際に活用したりする。

- ・チェックリストにある手立てを年度初めの学級づくり等に盛り込んで日常的に実践する。
- ・学期末に自己評価した結果から課題を見だし、次の学期の学級経営に生かす。

### 2 校内研修（生徒指導訪問、初任者研修、若手教員向けの研修等）の際の資料として活用する。

- ・先生方の自己評価を基に、学校としての課題を見だし、その解決に向けた協議を行う。
- ・チェックリストにある手立ての例を基に、具体的な学級経営の手立てについて検討する。